

# 津奈木大橋



津奈木  
前はカキ

発行所  
津奈木公民館  
芦北郡津奈木町  
電話(78)311111  
印刷所 旭印刷  
電話(水俣)34101番

津奈木町体育協会が文部大臣から、社会体育優良団体として表彰されました。  
これは地域又は、職域におけるスポーツの健全な普及、及び発展に貢献し地域体育の振興に顕著な成果をあげた団体として表彰されたもので、これも、町民の皆様方のご理解とご協力があったからこそだと思います。  
誠に有がとう御座いました。これからも、町民の皆様方

## 文部大臣賞受賞

### 津奈木町体育協会

と御一緒に「町民皆スポーツ」の推進に一生涯懸命努力して行きたいと思ひます。



「心の教育」が大きく叫ばれていますが、その第一歩は、心のこもったあいさつができることではないかと思ひます。  
朝、学校に着き、登校してくる子ども、遊んでいる子ども達と元気よく、「おはようございます。」「おはよう。」とあいさつを交わすのは、すがすがしい気持ちのよいものです。算数では、かけ算九九が基礎であるように、あいさつは、人間が社会生活を営む上での基礎ではないでしょうか。あいさつができないのは、生活において、九九ができないのと同じではないかと思ひます。  
「おはよう。」のあいさつの中に「きょうも元気でがんばります。」という自己主張が込められ、また、「あなたも元気でね。」きょうもがんばりましょう。」という他者承認の意味もふくまれていると思ひます。ですから、横を向いての「おはよう。」は、自己主張のみで他者を認める温かさに欠けるのではないかと思います。  
あいさつは心の窓、心と心をつなぐ大切なかけ橋です。家庭でも、「おはよう。」「ただ今。」「おやすみ。」「ごめんなさい。」など家族間で交わすことは習慣になれば、学校でも地域でも生かされてくると思ひます。あいさつは、まわりの人との人間関係を豊かにし、社会性を養う上からも大事なことです。学校、家庭、地域であいさつの輪を広げていきたいものです。

## 一言

「心の教育」が大きく叫ばれていますが、その第一歩は、心のこもったあいさつができることではないかと思ひます。  
朝、学校に着き、登校してくる子ども、遊んでいる子ども達と元気よく、「おはようございます。」「おはよう。」とあいさつを交わすのは、すがすがしい気持ちのよいものです。算数では、かけ算九九が基礎であるように、あいさつは、人間が社会生活を営む上での基礎ではないでしょうか。あいさつができないのは、生活において、九九ができないのと同じではないかと思ひます。  
「おはよう。」のあいさつの中に「きょうも元気でがんばります。」という自己主張が込められ、また、「あなたも元気でね。」きょうもがんばりましょう。」という他者承認の意味もふくまれていると思ひます。ですから、横を向いての「おはよう。」は、自己主張のみで他者を認める温かさに欠けるのではないかと思います。  
あいさつは心の窓、心と心をつなぐ大切なかけ橋です。家庭でも、「おはよう。」「ただ今。」「おやすみ。」「ごめんなさい。」など家族間で交わすことは習慣になれば、学校でも地域でも生かされてくると思ひます。あいさつは、まわりの人との人間関係を豊かにし、社会性を養う上からも大事なことです。学校、家庭、地域であいさつの輪を広げていきたいものです。

# 2大スポーツ大会



## みんなのスポーツ大会

水俣市・芦北郡各町対抗陸上競技大会  
この結果グラウンドの状態は、最  
日(日)、第十六回  
水俣・芦北各町対  
抗陸上競技大会が  
本町総合グラウン  
ドにおいて開催さ  
れた。  
大会前の十二日  
の雨でグラウンド  
の状態が心配され  
たが、今年この大  
会を本町で開催す  
るため、九月から  
十月にかけて総合  
グラウンドの改修  
工事をしており、  
さて、大会は、午前九時三十分  
開会、十時より、中学生女子の百  
メートルを皮切りに、二七才以下

去る、11月22日本町において、県  
民ひとりが積極的に体力づくりの  
実践活動を展開し気運を盛りあげ  
るため、広く県民に呼びかけ体力  
づくり運動の推進を図ることを目  
的に体力づくり、みんなのスポー  
ツ大会が約千人の参加で開催され  
た。  
午前9時から開会式が行われ、  
六車町長から本大会を通して、「市  
町民の融和を深めて下さい」と挨拶  
の後、本大会の選手を代表して、  
津奈木町の西平絹代さん、美貴さ  
ん母子が元気よく選手宣誓を行い、  
午前10時から母子ビーチボール、  
婦人ビーチボール、グラウンドボル

の八百メートルリレーまで、トラ  
ック競技四十八種目、フィールド  
競技十六種目が行なわれた。  
本町からも約百名の選手が、ほ  
とんどの競技に出場した。  
午前の部終了時点での途中結果  
では、本町は、水俣、芦北に続い  
て三位であったが、四位田浦との  
差は、わずかに九点と差は許さ  
れない状態でした。  
午後は、主にリレーを中心とし  
た競技が行なわれ、本町選手は、  
上位にくい込み、最終結果でも、  
田浦をおさえて三位と何とか最下  
位を脱することができた。  
最後に、お忙しい中、御協力頂



(トップを走る宮嶋弘行選手)



(トップを走る宮嶋弘行選手)

## お礼

## ご芳志お礼

本年度の町民体育祭も、十月十  
日の陸上競技大会まで、八種目と  
も無事に終了することができまし  
た。  
また本年度は、郡、市陸上大会、  
みんなのスポーツ大会等、本町で  
大きな大会が開催されました。  
各体育部長さんをはじめ、関係  
各位には、お忙しい中、御協力を  
頂きまして、心よりお礼申し上げ  
ます。  
今後ともいろいろと御協力を願  
いすること、思いますが、よろ  
しくお願い致します。

## 編集後記

○こんどの産業祭には何を出そう  
かな、津奈木の特産品とは何だろ  
か、特色ある産業祭にしたいもの  
だ、みんなの力で産業祭を盛り立  
てよう、夢を持って、夢を出品シ  
よう。  
○津奈木町体育協会が文部大臣賞  
を受けた。まことに目出度いこ  
とだ。これ全く体育関係の役員  
の永い期間のたゆまない努力と、  
町民の理解ある協力の結果である  
この一致の力は、本町発展のきり  
札として残るだろう。  
○少林寺拳法の坂本拓郎君西平昌  
郎君お目出度う。  
○坂口建設五輪塔を祀る。鎌倉時  
代の五輪塔を工事中に発掘して保  
存している。肥後国誌に「上門村  
ノ内河内村阿弥陀堂」と出ている。  
恐らくアミダ堂と関係あるものと  
思う。  
○西南の役(四) 薩軍が津奈木に泊  
ったときのこと。  
○青年祭 新鮮で面白かった。客  
の少なかつたのは惜しい。  
○海洋センターでの文化祭 精進  
されて見たえあり。

## 体力づくり マラソン大会

毎年12月に開催しております、  
体力づくりマラソン大会が本年は  
12月13日(日)に開催されます。  
この大会は、体力づくりを目的  
とした大会で、種目は次のとおり  
です。  
【10キロの部】  
一般男子(高校生以上)  
中学生男子  
中学生女子(中学生以上)  
小学生男子(4年生以上)  
小学生女子(4年生以上)



朝光  
桜田精一



歷史(三)

をはからう。  
などと訓辞やら要請がしばしばあった。  
婦人會も戦争による苦難を國民と共にまともに受けたつも、銃後の護りは完全に果してきた。  
次の話は津奈木のある婦人會員の実話である。戦時中のこと八代駅の待合室でのことである。隣りの席の知らぬご婦人から、小麦の粕の餛飩をいただいた。このころ餛飩など貴重品であった。乏しきを頒け合う慈心に感激した。

## 親と子（その四）

## 過保護が自律の芽をつむ

現在のわが国は全般に物的生活が豊かになり、子供の数も少なくひとりひとりの子供に十分に目がゆきとどいています。そのために子供を保護しすぎ、甘やかしてしまつ結果になってしまっています。

勇気のない子供、自分勝手な子供、年齢相応の判断のできない子供はこのようなことでつくられます。子供にはもちろん保護は必要です。しかしそれは年齢相応であるべきで、その年齢の子供に当然

想  
デレラ

は、シンデレラはよわむしとおも  
った。おかあさんとおねえさんた  
ちをおこればいいのとおもった。  
おばあさんがシンデレラのまえ  
にきたと  
き、シン  
デレラは  
うれしか  
った。ただ  
うなあと  
おもった。  
おばあ  
さんのま  
ほうはと  
てもふし  
ぎだつた。  
かばちや  
がば車にな  
った。は  
つかねず  
みがうま  
になった  
り。

くろいねずみがぎよしやになつた  
りしたので、わたしは、びつくり  
した。わたしはシンデレラなら、  
おばあさんにひやうべんいじよう  
ありがとうといったらう。

シンデレラは、おしろのパーテ  
ィーにいつておうじさまとおどつ  
てさいごにひめになったことがと  
てもよかった。シンデレラひめに  
なつてよかったね。

赤崎 小 一年 岩崎 ミロ

# 讀書感想

シンデレラ

っただろなあとおもふ。おばあ  
 さんのまほうはともふしぎだっ  
 た。かばちやがば車になったり、  
 はつかねずみがうまになったり、  
 てもよかった。シンデレラひめに  
 なってよかったね。

赤崎小 一年 岩崎 ミロ

赤崎小 一年 岩崎 ミロ

## 西南戦争(四)

薩軍出陣

岡本秋徳



蟻川家の隣下には高橋家（当主「徳氏」）がある。この高橋家にジョさんという方がおられた。ジョさんは筆者が小学校に上る頃の大正末期まで生存されていた人である。筆者の記憶にあるジョさんは、八十才を越えた老婆であつた。春の陽射の温暖な日など、筆者の祖母と畑の傍の南面する土堤に寄りかかつて、ながいこと二人で話をしていたことを憶えている。その高橋家にも薩軍が宿泊した。高橋家では薩摩の兵士が宿泊するということで、乱暴でもされたらという不安から前もって、鍋釜など裏の畠に埋めて隠置した。ところが宿泊した兵士達はみな物腰が丁寧で親切であつたので、高橋家では握り飯などをつくつて接待した。雪は小止みなく降り続いた。兵士達はグルーブをつくつて庭で焚火を囲んで暖をとっていた。その中に真新しい綿入の袖無しを羽織つた十七・八才の少年兵も交つてゐた。寒風に煽おられた焚火の焰がいつの間にか少年兵の袖無しに燃えうつていた。あわてて消し止めたときは、袖無しの身包の半分ぐらい焼け焦げていた。翌朝少年兵はその袖無しを高橋家に残置して出発して行つた。その袖無しは、その後長いあいだ高橋家で大事に保管してあつたという。高橋ジョさんの談話として、後年祖母が話してくれた西南戦争にまつわる挿話である。

次号へ

肥後狂句

掘双岳選

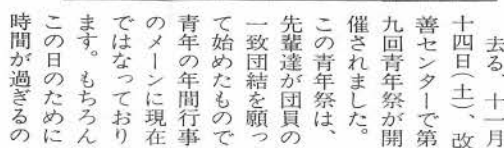
着順  
突っぼげ、あんまり店が派手すぎ  
た  
古か話、かかとの縁のそもそもは  
雲波  
突っぼげ、袋はねすみの巣だった  
古か話、家出までして添うた仲  
白波  
突っぼげ、知恵がスース漏るこた  
る

ツ鞆に入る急ぎの旅に  
 寺本ツルオ  
 思出をたどれば樂しまた悲し夜半  
 目ざめては幻を追う  
 墓参り出すそ行けば蟬しぐれしみ  
 じみ聞けば嘆くがごとく  
 鳥居 保  
 竿の上に連珠思ほゆ雨露の朝日を  
 受けて輝きて落つ  
 紺碧の空に真白きさるすべり花群  
 ゆれて涼風を呼ぶ  
 白浜美和子  
 迎へ灯をともしばみ盡ひそやかに

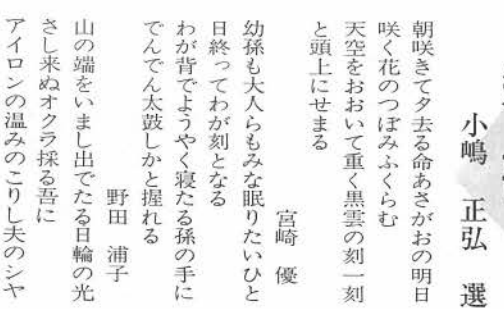
青年祭

幼児の掛声にてれる

女子青年



分から開演され、六車町長、谷口教育長から祝辞を頂き、始めにF.F支部の影絵（かぐや姫）から始まり、これはまるで幕の後に人間がいるように人形のうごき色彩とも実にすばらしい影絵でした。大泊支部は踊りが主でしたが、こちらもなかなかのもので男子青年女子青年と、それはそれはすばらしい踊りでした。特に女子青年の踊りを見ていてほれられました。平国支部も同じく踊りが中心でしたが男子青年による



# 短歌

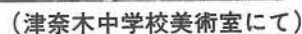
小嶋 正弘 選

朝咲きて夕去る命あさがおの明日  
咲く花のつほみふくらむ  
天空をおおいて重く黒雲の刻一刻  
と頭上にせまる

夕顔の目覚むるごとく咲きそめし  
一夜の命愛しと眺むる  
福田八重子  
はかなくも友は逝きたり好みたる  
真白き花に極うずめて  
竹田千枝子



# 絵画クラブ紹介



毎週水曜日（午後7時30分から9時30分）まで、絵画のすきな人達が集って、津奈木中学校の宮永先生のご指導で、とっても明るいムードの中楽しく開かれております。町内の方でしたら、どなたでも参加出来ますので、ごきがるに足を進めてみませんか、おまちしております。





## 倉谷地区ミニ運動会 —地区民の交流を推進—



去る、十一月二十二日、津奈木町倉谷地区において、倉谷地区の松永区長、森下体育部長を始め、区民全員が参加して、「交流と体力づくり」のためにミニ運動会が開催されました。午前九時開会、幼児、小学生の徒歩から始まり、ジャンケンリレー、ピン釣り、親子

リレー、三代リレー、背負い玉入れ、人探し、年代別リレー等二十六種目と色々の競技を、幼児から老人まで、だれでも楽しく参加出来るよう計画して行いました。見学に少しの時間でしたが行ってきたが、それはそれは大変なまでにぎわいぶりで私も参加したくなるような気持ちでいっぱいでした。又、オーストラリアのシャニールさんも参加されており一生懸命頑張っておられました。



## 坂口氏(中尾地区) 五輪塔を祀る



国道三号線から、内野区の入近くの坂口建設の敷地内に、新しい堂が建てられた。間口二間奥行一間半、こじんまりして、明るくて清々しい。中には四基の五輪塔が祀られてある。数年前坂口建設が、川内区で工事中発掘されたもので、町内にある四十基程の中で最も整ったものである。いづれも鎌倉期型と見受けられるが、この塔の火輪の裏には、謎の盃状穴が五—一五程もある特殊な存在で、他の石造物の盃状穴と共に謎は解けない。

近くの馬頭観音の白石も同様である。この五輪塔の発見された川内には、余程以前から相当な寺院があつたものと、示唆を受ける。幸にして、文化財保護に理解の深い坂口氏が、自費を投じて、貴重な文化財の逸散を防ぎ、永久保存に協力されることに、敬意を表し、積善余慶で、坂口建設の社運の繁栄を祈りたい。

## 最優秀賞(少林寺拳法)

あつぱれたひつこ



去る、九月二十三日、熊本県立総合体育館で、少林寺拳法熊本県連盟主催による大会が開催され、組演武、低学年の部で本町の坂本拓郎君(小三年)、西平昌生君(小三年)が最優秀賞を受賞しました。外に本町から山内由美さん(小三年)、西川雄一郎君(小四年)、山本龍君(小五年)が出場し一生懸命頑張りました。

## 地域婦人会大会 (みのりおおき三市三郡)

第三七回城南三市三郡ブロック  
地域婦人会大会津奈木にて開催

を聞いていると、頑張りと子供達が立派な人間になるように願ひ掛けられているように聞えます。皆さん自分も参加してみたいと思われ方がおられました是非愛好者になって下さい。

去る、九月二十三日、六車町長尾婦連水上ムス会長並に郡市多数の来賓の先生方の御出席をいただき、会員四百五十名が参加し津奈木町改善センターに於て、開催されました。この会は、城南三市三郡が郷土を紹介しあい、婦人会相互の親睦を深め、温い心のふれあいによって、地域に愛の灯をともしながら婦人集団としてのよりよい役割を果たすことを目的とするものでありますが、本年は町に開催出来る機会を得ました。愛の募金を会員七円(二十万)を田浦の野坂の浦に、善意の寄贈をいたしました。講演には日立家電講師生沼スミエ先生をお迎えしました。先生は元バレーの選手でオリンピックにも出場された方で「スポーツに学ぶ」と言う演題で、お話を聞きました。



## 第六回津奈木町 文化祭盛大に開かる



文化の秋、津奈木町文化祭が十一月七、八日の二日間、改善センターと海洋センターで開催されました。今年度は例年になく出足好調で体育館の中は観覧者でぎわいておりました。展示された作品はどれも見事なもので小、中学生の書、絵画を始め陶芸、寒蘭、写真、生花、手作りのみことな傘、菊は文化の日を代表するものだけに、会場の中に展示された菊は会場の華であった。この外にも色々の作品が展示されました。出品された各部門の皆さんの御苦労と御協力に感謝するばかりです。

八日夜は改善センターで詩吟、無踊、歌謡の部の発表会が行われ自慢のノドや舞いで観覧者をつつとりさせました。

特に今年度は色々とくふうされており、日本舞踊、歌とすばらしく時間がたつのもわすれるくらい見事な発表会でした。又改善センター和室では夜おそくまで将棋、開基の愛好者による大会が行われました。文化祭も現在では会員の意識が高まり、準備等も自分達の手で行われるようになりました。

## 津奈木町文化祭



## 染竹棒踊り

熊本県民俗芸能大会で熱演



十一月十五日(日)、菊池市文化会館で第三回熊本県民俗芸能大会が開催され染竹地区の棒踊りが水保市、芦北郡の代表として出演しました。

この日は県内十一の代表が集合し、染竹地区棒踊りは四番目に出演、みことな踊りに会場からわんぱかりの拍手があり、出演された皆さんがあつぱりたよかつたこれで肩の力がおりたと言っておられました。

もちろんこの日のために夜おそくまで、練習に練習を繰返されたのですから本当にご苦労様でした。



菊池市文化会館にて